



空母艦載機の移駐が始まりました

空母と艦載機の動き

今年4月24日、防衛省は、5月2日～13日に硫黄島で空母艦載機の着陸訓練を実施すると公表しました。この中で、硫黄島の天候などの事情により所要の訓練が実施できない場合は、厚木基地においても訓練を実施するとされていたことから、同日、大木市長は厚木航空施設司令官ジョン・F・ブッシー大佐と外務省、防衛省に対し、騒音被害に日々苦しむ市民の状況を十分に認識し、決して厚木基地で着陸訓練を実施しないよう強く要請しました。結果として、すべての訓練が硫黄島で実施され、厚木基地で実施されることはありませんでした。

空母艦載機移駐に関する防衛省の説明と移駐の開始

7月12日、防衛省地方協力局島嶼^{しん}哉^が地方調整課長が大木市長を訪れ、空母艦載機の移駐に関し、移駐先の施設整備は順調に進み、来年5月頃までに移駐が終了するものとならえていること、移駐先自治体から移駐受け入れの正式回答があったこと、移駐後の空母艦載機の着陸訓練は岩国基地から硫黄島へ直接向かい実施すると米側から聞いていることなどが説明されました。

また、同日、「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」（移駐協議会）が開催され、同様の説明がありました。

市は、国に対し、一日も早く空母艦載機の移駐を完了させ、市民負担の軽減に確実に結びつけることや、移駐後の厚木基地の運用などを早急に示すことを強く求めるとともに、国の周辺対策事業の性急な予算削減を行わないよう求めました。

このようなか、8月9日には、国から、厚木基地に飛来していた空母艦載機E-2Dホークアイ5機が、同日、岩国飛行場に飛来したことにより、空母艦載機の移駐が開始された

との説明がありました。引き続き、市では、厚木基地に起因する諸問題の解決に向けて取り組んでいきます。

第7回YAMATOイラストレーションデザインコンペの作品を募集

全国の若者のイラスト作品を公募するコンペを今年も開催します。今回のテーマは「美」。審査委員長は、市内在住のイラストレーター・及川正通氏。入賞者は、来年度に市が実施する事業のポスターなどを制作するイラストレーターとして起用します。

応募規定▶①国内在住の16歳以上40歳未満のアマチュアによる作品(共同制作も可)／②1人(組)3作品まで。オリジナルで未発表の平面作品に限る／③用紙サイズはA4判。縦横使い、画材は問わず。デジタル画の場合は紙に印刷したもので応募

賞▶最優秀賞1点(賞状、5万円相当の記念品)、優秀賞4点(賞状、3万円相当の記念品)

応募方法▶12月12日(火)(消印)までに作品と応募用紙(作品の裏面に貼付。複数応募の場合はそれぞれに貼付し、全応募作品中の何点目かを記載)を直接または郵送で〒242-8601市役所文化振興課へ。応募用紙と応募要項は同課で配布するほか、市のホームページからダウンロードもできます。電話、ファクスでの請求も可。

※詳しくは応募要項をごらんください。



市役所文化振興課文化振興担当 ☎(260)5222 FAX(263)2080。

316。 当市役所基地対策課基地対策担当 ☎(260)5310 FAX(260)5